

医学研究実施のお知らせ

済生会山口総合病院 泌尿器科では、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】 尿路結石による閉塞性腎盂腎炎の治療法に関する多施設共同研究（後方視的研究）（REAL-SAIHI）

【研究の概要】

●研究の目的

尿路結石による閉塞性腎盂腎炎の治療法に関して多施設の症例を後ろ向きに集積して臨床的検討を行い、今後の尿路性器外傷の治療法の向上を目指すことである。

●研究期間

研究対象とする期間：2018年1月1日～2022年12月31日まで

研究期間：承認日～2025年3月31日

●対象となる方等

研究機関：済生会山口総合病院 泌尿器科

対象となる方：研究対象とする期間に、済生会山口総合病院 泌尿器科にて経験したドレナージを施行した尿路結石による閉塞性腎盂腎炎の全症例を対象とします。

●研究に利用する試料、情報等

情報：年齢、性別、身長、体重、結石の状態、感染症・治療の詳細、ドレナージの詳細、術後在院日数、解熱期間、等

●本研究では、以下の機関に、情報を提供致します。

提供先の機関：済生会川口総合病院

提供方法：情報は連結可能匿名化して電子媒体で送付します。

【問い合わせ先（対応時間：平日 09：00 ～ 17：00）】

済生会山口総合病院 泌尿器科

大場 一生

電話： 083-901-6111

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。

山口大学医学部附属病院および本研究に参加される施設で診療を受けられる皆様へ

本研究グループでは、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、以下の問合せ先にご連絡下さい。

① 研究課題名	転移性ホルモン感受性前立腺癌 (mHSPC) に対する治療効果を調査する後ろ向き探索研究：多施設共同研究		
② 実施予定期間	実施許可日 ~ 2025年 12月 31日		
③ 対象患者	下記対象期間中におよび山口大学医学部附属病院および共同研究施設（下記参照）で、mHSPC に対して ARSI（イクスタンジ・ザイティガ・アーリーダ・ニューベクオ）・ドセタキセルの投与を受けた患者さん		
④ 対象期間	2018年 1月 1日 ~ 2023年 12月 31日 (追跡期間：2018年 1月 1日 ~ 2024年 3月 31日)		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	泌尿器科		
⑦ 研究責任者	氏名	白石 晃司	所属 山口大学医学部附属病院泌尿器科
⑧ 使用する資料等	過去のカルテ上の診療情報（生年月日・Performance status(生活強度)・身長・体重・BMI・既往歴・家族歴（前立腺癌や乳癌、卵巣癌）前立腺生検病理学的所見・症状・血液検査データ・画像検査所見・治療効果・副作用・予後など）を遡って調査します。生年月日は個人情報に該当しますが、今回複数の治療開始時期の正確な年齢算出のために収集します。情報収集および提供、事務局での解析時には情報漏洩に十分注意します。		
⑨ 研究の概要	本研究は多施設共同研究で、山口大学医学部附属病院および共同研究施設（下記参照）において、転移性ホルモン感受性前立腺癌に対してARSI（イクスタンジ・ザイティガ・アーリーダ・ニューベクオ）・ドセタキセル治療を受けた患者さんを対象に、再発や生命予後の調査を行い、治療効果の検討や薬物療法の有効性や安全性について検討を行います。 本研究は後ろ向き（生体試料を用いない）探索的研究で、診療録から生年月日以外の個人情報を伏せた患者さんの情報を山口大学医学部附属病院に集め解析を行います。今回の調査では複数の治療開始時年齢の算出が必要なため、生年月日の収集が必要となります。情報提供時や解析時の情報漏洩については十分に注意します。		
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2024年 10月 18日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		

⑫ 結果の公表	学会発表又は論文発表にて結果を公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人情報が特定されることはありません。診療録から生年月日以外の個人情報を伏せた患者さんの情報を山口大学医学部附属病院に集め解析を行います。情報収集時には情報漏洩に十分に配慮します。		
⑭ 知的財産権	知的財産権の帰属先は山口大学大学院医学系研究科（医学専攻）泌尿器科学講座を含む多機関共同研究グループです。		
⑮ 研究の資金源	山口大学大学院医学系研究科（医学専攻）泌尿器科学講座の奨学寄付金、山口ウロオンコロジーフォーラムの研究資金を用いて実施します。本研究に関連する企業からの寄付金の受け入れはありません。		
⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	済生会山口総合病院 泌尿器科 大場一生（研究責任者）		
	電話	083-901-6111	FAX 083-921-0714

別添

研究代表者

山口大学医学部附属病院泌尿器科 白石 晃司

共同研究施設と研究責任者

共同研究施設 (16 施設)	
施設名	施設内研究責任者
山口大学医学部附属病院泌尿器科	白石 晃司
小倉記念病院泌尿器科	坂野 滋
下関市立市民病院泌尿器科	吉弘 悟
関門医療センター泌尿器科	鄭 泰秀
山陽小野田市民病院泌尿器科	山本 義明
山口赤十字病院泌尿器科	矢野 誠司
済生会山口総合病院泌尿器科	大場 一生
山口県立総合医療センター泌尿器科	松本 洋明
JCHO 徳山中央病院泌尿器科	土田 昌弘
周東総合病院泌尿器科	長尾 一公
益田赤十字病院泌尿器科	伊藤 英昭
長門総合病院泌尿器科	北原 誠司
光市立光総合病院泌尿器科	赤尾 淳平
宇部興産中央病院泌尿器科	大見 千英高
山口県済生会下関総合病院泌尿器科	高井 公雄
山口労災病院泌尿器科	白瀧 敬

情報公開文書

研究の名称	研究の名称 無症候性胆管結石に対する内視鏡治療と経過観察を比較する多施設共同前向き研究
研究主機関の名称	富山大学附属病院
研究代表者	富山大学学術研究部医学系内科学(第三) 教授 安田 一郎
共同研究機関の名称	済生会山口総合病院
共同研究機関の研究責任者	済生会山口総合病院 消化器内科・部長 石垣 賀子
【研究対象者】	① 腹部超音波検査、腹部CT 検査、腹部MRI 検査、超音波内視鏡検査などの画像検査において、総胆管結石が明らかの方。 ② 腹痛や発熱といった自覚症状や、肝胆道系酵素の上昇を認めない方。 ③ 18 歳以上の方。
【研究の目的・意義】	無症候性胆管結石に対する経過観察の妥当性を検討するため、内視鏡治療群と経過観察群における臨床経過を比較検討することを目的とします。総胆管結石は閉塞性黄疸、胆管炎、胆石膵炎といった重篤な症状を来し得る疾患であり、このような症状を有する症候性胆管結石に関しては、速やかな内視鏡治療が推奨されます。一方、無症候性胆管結石に関しては、日本消化器病学会やEuropean Society of Gastrointestinal Endoscopy (ESGE)のガイドラインでは、長期的な急性胆管炎や急性膵炎の合併のリスクを考慮し内視鏡治療が推奨されています。しかしながら複数本の既報では、いずれも無症候性胆管結石に対する内視鏡治療による術後膵炎の高いリスクが報告されています。 一方で、無症候性胆管結石を経過観察した場合の自然史に関しては報告が少ないものの、本邦からの既報では胆道偶発症の累積発生率は1年で6.1%、3年で11%、5年で17%でした。さらに、無症候性胆管結石を経過観察した群と、内視鏡治療後の長期成績を比較すると、2群間で差を認めませんでした。以上より、無症候性胆管結石に対する予防的な内視鏡治療は、高い偶発症のリスクを伴うものの、術後の長期予後を改善しない可能性があります。しかしながら、この既報は単施設後ろ向き研究かつサンプルサイズも小さいため、無症候性胆管結石の治療成績、長期予後に関しては、さらなるエビデンスの構築が必須であると考えています。今回、多施設共同前向き研究において、無症候性胆管結石に対する経過観察の妥当性を検討するために、本研究を実施します。
【研究の方法】	日本胆道学会会員所属施設において、無症候性胆管結石に対して内視鏡治療または経過観察を行う方を登録し、前向きに内視鏡治療成績および長期予後のデータを調査します。それにより、無症候性胆管結石の内視鏡治療成績および自然史を明らかにします。
【研究期間】	実施許可日～2030年3月31日
【研究結果の公表の方法】	研究の実施に先立ち、(富山大学)国立大学附属病院長会議が設置している公開データベース(umin)に登録をします。研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報明らかにしないようにした上で、学会発表や学術雑誌で公表します。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法(他機関への提供の有無)	収集するデータ項目 ・背景因子の確認 性別、年齢、基礎疾患、既往歴(胆嚢結石の有無、膵炎の既往)、米国東海岸癌臨床試験グループのperformance status、チャールソン併存疾患指数、術後腸管再建例の場合はその詳細、抗血栓薬使用の有無を調査します。 ・原疾患の評価 胆管結石の診断確定日および検査画像種類(腹部CT やMRI、腹部超音波検査、超音波内視鏡検査など)、胆管結石の最大結石径、結石個数、下部胆管径を調査します。 ・内視鏡治療 治療施行日、胆管挿管時間、胆管挿管施行回数、胆管挿管の方法、膵管造影の有無、膵管ガイドワイヤー誤挿入の有無、プレカット施行の有無、胆管挿管成功の有無、乳頭処置内容、結石破碎の有無、結石破碎を施行した場合にはその種類、初回治療に要した治療時間、完全結石除去の成否、完全結石除去するまでの治療回数、予防的膵管ステント留置の有無、術後膵炎予防としての非ステロイド抗炎症薬使用の有無、その他、膵炎予防処置の有無、内視鏡治療による早期偶発症の有無、及び発生した場合はその内容と重症度。以上について調査します。 ・胆嚢摘出術 内視鏡的胆管結石除去後に、胆嚢結石を有する方については、日常診療の範囲内で、長期的な胆道偶発症の再燃を予防するために、胆嚢摘出術を推奨します。胆嚢摘出術を施行した方については、胆嚢摘出術日時、胆嚢摘出術詳細、および胆嚢摘出術による偶発症の有無、発生した場合はその内容および重症度を調査します。

	<p>・外来経過観察</p> <p>治療群および経過観察群いずれにおいても可能な範囲内において定期的な外来経過観察を行います。経過観察は日常診療の範囲内ですが、6ヶ月を目安に採血や画像検査(腹部超音波検査、腹部CTもしくはMRI等)と共に、発熱や腹痛など胆道偶発症を示唆する自覚症状の有無を確認していきます。経過観察開始後3年以内においては上記経過観察を継続致しますが、外来受診が困難な方に関しては電話による確認も可とします。</p> <p>本研究で収集する情報およびその授受についてはElectronic Data Captureシステムに保管・記録されます。研究期間中は、富山大学の研究代表者の安田一朗がこれらのデータを厳重に管理します。研究終了後においても、研究終了した日から5年間または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年間のいずれか遅い方までの期間、研究代表機関の記録の保管に関する規定及び手順書に従い、適切に保管します。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	済生会山口総合病院 院長 郷良 秀典
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>富山大学学術研究部医学系内科学(第三) 教授 安田一朗</p> <p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>【研究主機関】</p> <p>担当者所属・氏名: 富山大学第三内科 林伸彦 電話 076-434-7301 FAX 076-434-5027 E-mail hayashi@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>【共同研究機関】</p> <p>済生会山口総合病院 消化器内科・部長 石垣 賀子 電話 083-901-6111</p>

医学研究実施のお知らせ

済生会山口総合病院 消化器内科では、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】「山口大学医学部附属病院及び協力施設における膵周囲液体貯留に対する超音波内視鏡下経消化管的ドレナージ術の治療成績把握のための調査研究」（多施設共同研究）

【研究の概要】

●研究の目的

膵周囲液体貯留に対してプラスチックステントあるいはLAMSを用いてEUS下ドレナージによる治療が行われた症例の情報を収集することで、膵周囲液体貯留に対するEUS下ドレナージの現状を把握する。

●研究期間

研究対象期間：2008年12月1日～2023年12月31日（追跡期間：2024年3月31日まで）

研究期間：承認日～2028年3月31日

●対象となる方等

研究機関：済生会山口総合病院 消化器内科

対象となる方：済生会山口総合病院にて、研究対象期間に膵周囲液体貯留に対するEUS下ドレナージが行われた患者で研究の選択基準を満たす患者。

●研究に利用する試料、情報等

情報：例）処置日、年齢、性別、内視鏡手術データ、血液検査結果など

●本研究では、以下の機関に、試料・情報等を提供致します。

提供先の機関：

山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学

末永 成之

TEL：0836-22-2241

【問い合わせ先（対応時間：平日 09：00 ～ 17：00）】

済生会山口総合病院 消化器内科

石垣 賀子 電話：083-901-6111

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。

生命科学・医学系研究に関する情報公開について

下記の研究は、済生会山口総合病院臨床研究倫理審査委員会から承認され、病院長の許可を得て実施するものです。

インフォームド・コンセントを受けない場合において、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第4章 第8.1に基づき、以下の通り情報公開いたします。

研究課題名	九州山口地区における近年 EUS-BD 導入施設の初期成績
研究期間	病院長の許可日 ～ 西暦 2025 年 6 月 30 日
研究責任者	内視鏡部 講師 石田 祐介
試料・情報の収集期間	<input type="checkbox"/> ：新たな情報を取得する場合 病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日 <input checked="" type="checkbox"/> ：既存試料・情報を利用する場合 <input checked="" type="checkbox"/> 後向き期間：西暦 2017 年 01 月 01 日 ～ 病院長の許可日 <input type="checkbox"/> 前向き期間：病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日
研究対象者	2017 年以降に EUS-BD を導入した施設における、2017 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日までに EUS-BD の治療を受けた方
研究の意義と目的	<p>胆道癌や膵頭部癌などにおいては、癌が胆管(胆汁の通り道)へ浸潤することで、胆汁の流れが悪くなり、黄疸症状を来す場合があります。その場合の治療法の一つとして、超音波内視鏡ガイド下胆道ドレナージ術(EUS-BD)があります。EUS-BD は、胃や十二指腸に超音波内視鏡を挿入し、胃や十二指腸から、その外側にある胆管にステントやチューブを入れ込む内視鏡治療です。ステントやチューブを胆管と胃、十二指腸を橋渡しするように留置し、胆管内に溜まった胆汁が胃や十二指腸に排出され、黄疸の改善が得られます。本治療は 2012 年に保険収載された比較的新しい治療です。一部の専門施設での施行に始まり、近年では一般病院でも試みられる治療となってきました。90%前後と良好な治療成功率が報告されています。しかし、この治療成績は一部の専門病院における報告がほとんどであり、一般病院や初期導入施設における治療成績は不明です。そのため、本治療法の導入にあたって、注意すべき点や治療のリスクなどについては、いまだ不明な点が多くあります。</p> <p>そこで今回は、九州内で近年(2017 年以降)、EUS-BD を導入した施設における初期 20 名の患者様の治療成績を調査することとしました。前述の不明点が明らかになれば、今後同様の治療を受ける患者さまにとって有益な情報が得られるかもしれません。</p> <p>本研究には過去のカルテ記載・検査所見・画像所見などを用いますが、この研究のために新たに情報や試料を取得することはありません。また研究にご同意頂けない場合にも、現在の診療に影響を与えることはありません。ご同意頂けない場合には、ご連絡頂くことで研究対象から除外致します。</p>
研究の方法	2017 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までに当院または共同研究施設において EUS-BD の治療を受けた初期の患者様(20 歳以上)を対象としています。診察録から情報の確認、解析を行います。
研究に用いる試料・情報	診療録、検査データ

試料・情報の提供先	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
試料・情報の提供元	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 提供元の研究機関名：研究実施体制一覧を参照 提供元の研究機関の長：研究実施体制一覧を参照 研究責任者又は提供のみを行う者：研究実施体制一覧を参照 研究実施体制一覧を参照 取得の経緯：オプトアウトを行い、指定したカルテ情報を暗号化ファイルとし、当院事務局へ郵送する 取得する試料・情報：下記調査・観察項目に記したカルテ情報
情報管理責任者又は名称	代表機関名：福岡大学病院
研究のための試料・情報を利用する者	本学：医に関する倫理委員会で承認され病院長から許可された研究者 他施設：各施設の倫理委員会で承認され研究機関の長から許可された研究者
個人情報の保護	収集した試料・情報は、匿名化（どのデータが誰のものか分からなくすること）した上で本研究に利用します。国が定めた倫理指針に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
研究協力の任意性と撤回の自由	この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究に参加を希望されない方（患者さん自身がすでに亡くなられている場合にはそのご家族）は下記の問い合わせ先へご連絡ください。患者さんの試料・情報を本研究に利用しません。ただし、ご連絡を頂いた時点で、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、試料・情報を削除できないことがあります。不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の問い合わせ先までご連絡ください。この研究への試料・情報の利用を断っても、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。
試料・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について	患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止することができます。試料・情報の利用または提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。
問い合わせ先	所属：済生会山口総合病院 消化器内科 担当者名：石垣 賀子 電話番号：083-901-6111 対応可能時間：平日 9:00～16:40、土日曜・祝日を除く

医学研究実施のお知らせ

済生会山口総合病院 循環器内科では、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースとCRT患者の予後に関わる因子に関する研究（JPN-CRT）（多施設共同研究）

【研究の概要】

●研究の目的

全国規模のデータベースである循環器診療実態調査（JROAD-DPC）のデータベースと各治療施設からの追加情報を用いて、CRT（心臓再同期療法）患者の診断・治療・予後における現状の把握することにより予後に関わる因子に関するエビデンスを構築することを目的とする。

●研究期間

承認日～2026年3月31日

情報の収集期間：2012年4月1日～2021年3月31日

●対象となる方等

研究機関：済生会山口総合病院 循環器内科

対象となる方：2016年4月1日～2021年3月31日の間に、両室ペーシング機能付き植込型除細動器（CRT-D）移植術、両心室ペースメーカー（CRT-P）移植術を受けられた方を対象とします。

●研究に利用する情報等

患者背景、各種検査所見（心電図、心エコー図、心臓核医学検査、CRTデバイス検査など）、研究期間中に起こった出来事（除細動器の作動、心不全のため入院、など）とその日付

●本研究では、以下の機関に、情報等を提供致します。

提供先の機関：国立循環器病研究センター

提供先の研究責任者：心臓血管内科部門不整脈科 草野研吾

【問い合わせ先（対応時間：平日 09：00 ～ 17：00）】

済生会山口総合病院

循環器内科 小野 史朗 電話： 083-901-6111

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。

山口大学医学部附属病院および本研究に参加される施設で診療を受けられる皆様へ

本研究グループでは、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、以下の問合せ先にご連絡下さい。

① 研究課題名	転移性尿路上皮癌に対する二次化学療法のバイオマーカーの探索研究：多施設共同研究		
② 実施予定期間	実施許可日 ～ 2024年 12月 31日		
③ 対象患者	下記対象期間中におよび山口大学医学部附属病院および共同研究施設(下記参照)で、転移性尿路上皮癌に対して二次化学療法(パベンチオもしくはキイトルーダ)の投薬を受けた患者さん		
④ 対象期間	2017年 1月 1日 ～ 2022年 12月 31日 (追跡期間：2017年 1月 1日 ～ 2023年 3月 31日)		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	泌尿器科		
⑦ 研究責任者	氏名	白石 晃司	所属 山口大学医学部附属病院泌尿器科
⑧ 使用する資料等	過去のカルテ上の診療情報(生年月日・性別・Performance status(生活強度)・血液検査データ・画像検査所見・治療効果・副作用・予後など)を遡って調査します。生年月日は個人情報に該当しますが、今回複数の治療開始時期の正確な年齢算出のために収集します。情報収集および提供、事務局での解析時には情報漏洩に十分注意します。		
⑨ 研究の概要	本研究は多施設共同研究で、山口大学医学部附属病院および共同研究施設(下記参照)において転移性尿路上皮癌に対して二次化学療法(パベンチオもしくはキイトルーダ)を受けた患者さんを対象に、再発や生命予後の調査を行い、治療バイオマーカーの探索や、治療効果の検討を行います。 本研究は後ろ向き(生体試料を用いない)探索的研究で、診療録から生年月日以外の個人情報を伏せた患者さんの情報を山口大学医学部附属病院に集め解析を行います。今回の調査では複数の治療開始時年齢の算出が必要なため、生年月日の収集が必要となります。情報提供時や解析時の情報漏洩については十分に注意します。		
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2023年 7月 12日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会発表又は論文発表にて結果を公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人情報が特定されることはありません。診療録から		

	生年月日以外の個人情報伏せ患者さんの情報を山口大学医学部附属病院に集め解析を行います。情報収集時には情報漏洩に十分に配慮します。		
⑭ 知的財産権	知的財産権の帰属先は山口大学大学院医学系研究科（医学専攻）泌尿器科学講座を含む多機関共同研究グループです。		
⑮ 研究の資金源	山口大学大学院医学系研究科（医学専攻）泌尿器科学講座の奨学寄付金を用いて実施します。本研究に関連する企業からの寄付金の受け入れはありません。		
⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	済生会山口総合病院 泌尿器科 大場一生		
	電話	083-901-6111	FAX 083-921-0714

研究代表者

山口大学医学部附属病院泌尿器科 白石 晃司

共同研究施設と研究責任者

共同研究施設 (15 施設)	
施設名	施設内研究責任者
山口大学医学部附属病院泌尿器科	白石 晃司
小倉記念病院泌尿器科	坂野 滋
下関市立中央病院泌尿器科	吉弘 悟
関門医療センター泌尿器科	鄭 泰秀
下関市立済生会豊浦病院泌尿器科	小松 宏卓
山陽小野田市民病院泌尿器科	山本 義明
小郡第一総合病院泌尿器科	三角 拓
済生会山口総合病院泌尿器科	大場 一生
山口県立総合医療センター泌尿器科	山本 光孝
JCHO 徳山中央病院泌尿器科	土田 昌弘
周東総合病院泌尿器科	長尾 一公
益田赤十字病院泌尿器科	矢野 誠司
長門総合病院泌尿器科	北原 誠司
光市立光総合病院泌尿器科	赤尾 淳平
宇部興産中央病院泌尿器科	大見 千英高

医学研究実施のお知らせ

済生会山口総合病院 循環器内科では、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】「本邦心大血管リハビリテーションの問題点の抽出と対策の検討」
(多施設共同研究)

【研究の概要】

●研究の目的

心大血管リハビリテーションの量や質による急性心筋梗塞の予後改善効果を確認するとともに、保険診療における妥当性などに関する問題点を抽出し、それらを検証する。

●研究期間

承認日～2028年3月31日

試料・情報の収集期間：

〔後向きの収集期間〕 2014年1月1日～2019年12月31日

〔前向きの収集期間〕 承認日～2025年3月31日

●対象となる方等

研究機関：済生会山口総合病院 循環器内科

対象となる方：2014年1月1日～12月31日までの循環器疾患診療実態調査（JROAD）で収集されたJROAD-DPCに登録され急性心筋梗塞で入院した患者を対象とします。

●研究に利用する試料、情報等

診療録、検査データ、画像データ、新たに取得する予後調査情報

●本研究では、以下の機関に、試料・情報等を提供致します。

提供先の機関：琉球大学

提供先の研究責任者：琉球大学大学院医学研究科循環器・腎臓・神経内科学 大屋祐輔

研究全体での研究責任者：

福岡大学医学部心臓・血管内科学 教授 三浦 伸一郎

【問い合わせ先（対応時間：平日 09:00～17:00）】

済生会山口総合病院 循環器内科

小野 史朗 電話： 083-901-6111

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。

医学研究実施のお知らせ

済生会山口総合病院 外科では、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】

重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する乳頭筋に介入した僧帽弁形成の有用性に関する他施設共同研究（通称：MITRAPLUS）（多施設共同研究）

【研究の概要】

●研究の目的

主目的は重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症（IMR）に対する僧帽弁置換術（MVR）と乳頭筋に介入した僧帽弁形成術（MVP）の臨床成績を後方視野的に比較検討することである。

●研究期間

研究対象とする手術の施行期間：2015年1月1日～2019年12月31日

研究期間：承認日～2023年3月31日

●対象となる方等

研究機関：済生会山口総合病院 外科

対象となる方：済生会山口総合病院で重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症（IMR）に対して待機的に僧帽弁手術を施行した患者を対象とします。

●研究に利用する試料、情報等

調査項目は全死亡、心血管死亡、脳血管死亡、脳梗塞、僧帽弁に対する再手術、心不全による再入院、NYHA classの増悪、1年後ならびに直近のLV reverse remodeling、左室径ならびに収縮能、中等度以上のMRの再発。エコーデータ（画像及びレポート）

●本研究では、以下の機関に、試料・情報等を提供致します。

提供先の機関：

東京慈恵会医科大学 心臓外科学講座

國原 孝

担当者 高木 智充 TEL：03-3433-1111（内線 3501）

提供方法：

インターネット経由でコンピューターシステムに登録します。

【問い合わせ先（対応時間：平日 09：00 ～ 17：00）】

済生会山口総合病院 外科

小林 俊郎 電話：083-901-6111

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

このたび、済生会山口総合病院 臨床研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2021年 7月 12日

施設名 済生会山口総合病院
代表者氏名 院長 城甲 啓治

【研究課題名】

消化器内視鏡に関連した偶発症の全国調査

【研究期間】

2021年承認後～ 2021年 12月 31日

【研究の意義・目的】

日本消化器内視鏡学会は、消化器内視鏡に関連した偶発症を1983年から5年毎に、これまで6回にわたり全国的に調査を行ってきました。6回目の調査は2008年から2012年まで行われ、その結果は2016年に本学会誌に公表されています。この実態を知ることは、安全かつ効果的な消化器内視鏡診療の遂行に欠かせないものであり、日本消化器内視鏡学会としては近年の実態についての調査が必要と考えています。

一方、これまでの5年間をまとめた調査では前方視的調査と比べて偶発症頻度にかかなりの較差があることが判明しました。そのため今回の「消化器内視鏡に関連した偶発症の全国調査」では、発生した偶発症については、調査期間を短く任意設定した前向き調査、ならびに、重症事例調査として、任意に設定した調査期間の3年以内に起こった重症事例を後ろ向きに調査し、従来の調査に比してより実態に近い調査を施行することとしました。本研究では、上記の前向きおよび後ろ向きの結果を併せて検討し、消化器内視鏡に関連した偶発症の実態を明らかにする事を目的とします。

【研究の方法】

本研究は、各施設で任意に設定した調査期間中(1週間)に発生した、消化器内視鏡に関連した偶発症(①術者側の事故数、②前処置と感染に関する偶発症発生数、③消化器内視鏡の検査総数および偶発症発生数(生検を含む観察のみ)、④内視鏡治療の実施例数および偶発症発生数、⑤腹腔鏡における検査および治療総数と偶発症発生数(外科治療を除く)、および、発生した偶発症の詳細についてケースカードに入力し、データを収集します。また、任意に設定した期間から遡って3年以内に発生した重症事例についても調査します。なお、データについては日本消化器内視鏡学会で集約し、解析の上公表いたしますが、個々人の情報別に示されることはありません。

調査期間は、承認後の任意の1週間とします。また、重症事例の調査は、設定した1週間から遡った3年間を調査期間といたします。

【研究組織】

研究実施医療機関

1) 日本消化器内視鏡学会医療安全委員会

2) 研究代表責任者

日本消化器内視鏡学会 医療安全委員会 担当理事 入澤篤志
獨協医科大学医学部 内科学(消化器)講座 主任教授

3) データ登録・管理

浜松医科大学臨床研究センター 古田隆久

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

○研究内容に関する問い合わせの窓口

及び、試料・情報を当該研究に用いられることについて拒否する場合の連絡先
機 関 名： 済生会山口総合病院
担 当 者： 内科(消化器) 原田 稔也

「検査後に残った検体の研究利用に関するお願い」

当院では、高度な医療を提供するため日々努力を続けております。医療水準の向上には、診断や治療の進歩に貢献する研究及び医療従事者への教育等が不可欠です。そのため、診療時に検査目的で採取された検体の残り（残存検体という）を利用させていただくことに対してのご同意をお願いしております。

検体を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合は、いつでも使用や提供を中止することができます。その際、患者さんが不利益をうけることは一切ありませんので、ご安心ください。ご連絡は、下記問い合わせ先までお願いします。

(問い合わせ先)

〒753-8517 山口市緑町2番11号

済生会山口総合病院 臨床研究倫理審査委員会 事務局

TEL : 083-901-6111 FAX : 083-921-0714

研究内容 ①

(研究の名称)

ワルデンシュトレーム・マクログロブリン血症(WM)における遺伝子異常の検討と、その鋭敏な検出法の開発

(研究責任者)

済生会山口総合病院 血液内科部長 村木和彦

(共同研究責任者)

山口大学医学部保健学科臨床検査 准教授 山城安啓

(研究の対象)

過去20年間に末梢血、骨髄穿刺あるいは病理標本によってWMと診断された症例の骨髄塗沫標本

(研究の目的)

最近、血液腫瘍での責任遺伝子が次々に解明されつつあり、次第に病気の確定診断に必要となりつつあります。しかし、依然として、それが完全には確定されていない疾患もあり、WMもその一つです。WMにつき、現在だけでなく、過去のサンプルにも遡って検索することにより、病態・診断を明らかにし、日常臨床の進歩に寄与する目的で行います。

(他の研究機関に提供する場合とその方法)

本施設からは外部へ試料・情報を提供する場合、研究協力施設間のデータの提供は、記憶媒体に保存し提供します。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードを付け、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究者の一人が保管・管理します。

(研究の対象期間)

2017年8月1日 ~ 2022年7月31日

医学研究実施のお知らせ

済生会山口総合病院 外科では、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】「山口県呼吸器外科手術症例数の推移と手術成績に関する調査」 (多施設共同研究)

【研究の概要】

●研究の目的

山口県内で呼吸器疾患（肺・縦隔疾患）に対して外科的切除が行われた症例のデータを集積し、現状の把握と今後の治療成績向上に寄与する。

●研究期間

研究対象とする期間：2014年1月1日～2025年12月31日

研究期間：～2027年3月31日

●対象となる方等

研究機関：済生会山口総合病院 外科

対象となる方：済生会山口総合病院で呼吸器疾患（肺・縦隔疾患）に対して外科的切除が行われたすべての患者を対象とします。

●研究に利用する試料、情報等

情報：例）年齢、性別、病期、組織型、手術症例数、手術術式など

●本研究では、以下の機関に、試料・情報等を提供致します。

提供先の機関：

山口大学医学部附属病院 第一外科

田中 俊樹

TEL：0836-22-2261

提供方法：

インターネット経由でコンピューターシステムに登録します。

【問い合わせ先（対応時間：平日 09：00 ～ 17：00）】

済生会山口総合病院 外科

神保 充孝 電話：083-901-6111

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。

医学研究実施のお知らせ

済生会山口総合病院 検査部・血液内科では、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】「国際協力による臨床症例バンクの構築と事実に基づく検査診断技術の普及
(多施設共同研究)」

【研究の概要】

●研究の目的

臨床検査データを、病気の診断・治療効果の判定・予後予測に的確に利用するには、その判断に役立つ検査データの知識ベースの構築が重要となる。本研究では、主要疾患を対象に診断が明確な過去の症例の検査データを、臨床症状や病期などの診療情報と共に記録し、データベース化する。そしてその情報をもとに検査診断サービスを行える Web システムを構築することを目的とします。

●研究期間

承認日～ 2022年 3月31日

●対象となる方等

研究機関：済生会山口総合病院 検査部・血液内科

対象となる方：過去7年間に、済生会山口総合病院血液内科で悪性リンパ腫、多発性骨髄腫と診断された患者全てを対象とします。

●研究に利用する試料、情報等

検査データ、および診療情報（診断名、年齢、性別、診断名/治療に関する情報、合併症に関する情報など）を個人が特定できないよう、匿名化して利用します。

●本研究では、以下の機関に、情報等を提供致します。

提供先の機関：

山口大学大学院医学系研究科保健学専攻

市原清志教授

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1

TEL：0836-22-2884

【問い合わせ先（対応時間：平日 09：00 ～ 17：00）】

済生会山口総合病院 検査部

服部 幸夫 電話：083-901-6111

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。

2017年1月1日から2018年12月31日に
当院で上肢深部静脈血栓症の診療を受けた方へ

研究実施のお知らせ

当院外科では、2017年1月1日から2018年12月31日までの期間に、上肢深部静脈血栓症の診療を受けた患者さんを対象に、上肢深部静脈血栓症の原因・診断・治療等について検討する研究を行います。この研究は、桑名市総合医療センター倫理審査委員会の審議に基づき、病院長の許可を得て実施するものです。

このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報公開をすることが必要とされており、

研究の題名 : わが国における上肢深部静脈血栓症についての調査
研究期間 : 2018年11月20日～2019年3月31日
研究機関長の氏名 : 桑名市総合医療センター 病院長 市川 毅彦
研究責任者 : 桑名市総合医療センター 循環器内科 副病院長 山田 典一

【研究の目的と意義について】

これまでわが国において上肢に発生した深部静脈血栓症に関するまとまった調査は行われておらず、今回は日本静脈学会の会員施設で診療を行った上肢深部静脈血栓症に関する調査を行うことになりました。上肢深部静脈血栓症の患者さんを多数、登録し解析を行うことで、好発部位、危険因子、診断や治療方法の現状、予後などを明らかにし、今後の診療に役立てられる情報を得ることができると考えております。

【研究の方法について】

本研究は、日本静脈学会会員施設を対象とした、多施設共同後ろ向き登録研究です。2017年1月1日から2018年12月31日までの期間に、上肢深部静脈血栓症と診断され診療を受けた患者さんについて、上肢深部静脈血栓症の発生部位、危険因子、診断方法、治療方法、予後等を、電子カルテから情報を抽出したうえで、各施設から送られた情報を統合し解析検討を行います。

また、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていないことはありません。

【個人情報の保護について】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。

国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報 を 厳重に保護し、研究結果の発表（学会や論文等）に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報を利用しないようにいたします。情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なくご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は以下の連絡先までお申し出ください。

【問い合わせ等の連絡先①】

〒511-0061 三重県桑名市寿町 3-11

桑名市総合医療センター 循環器内科 副病院長 山田 典一

電話 0594-22-1211（代表）

【問い合わせ等の連絡先②】

〒753-8517 山口県山口市緑町 2-1 1

済生会山口総合病院 外科 部長 斎藤 聰

電話 083-901-6111（代表）

医学研究実施のお知らせ

済生会山口総合病院 循環器内科では、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】「カテーテルアブレーション症例全例登録プロジェクト（J-AB レジストリ）」
（多施設共同研究）

【研究の概要】

●研究の目的

日本におけるカテーテルアブレーションの現状（施設数、術者数、疾患分類、合併症割合等）を把握することにより、カテーテルアブレーションの不整脈診療における有効性・有益性・安全性およびリスクを明らかにし、さらに質の高い医療を目指すことを目的とします。

●研究期間

2018年9月1日以降の登録とします。

●対象となる方等

研究機関：済生会山口総合病院 循環器内科

対象となる方：済生会山口総合病院 循環器内科でカテーテルアブレーション治療を実施されたすべての患者を対象とします。

●研究に利用する試料、情報等

情報：例）診断名、年齢、性別、診断名、治療に関する情報、合併症に関する情報など

●本研究では、以下の機関に、試料・情報等を提供致します。

提供先の機関：

国立循環器病研究センター

日本不整脈心電学会 J-AB レジストリ事務局

草野 研吾

〒565-8565 大阪府吹田市藤白台 5-7-1

TEL：06-6833-5012

提供方法：

インターネット経由でコンピューターシステムに登録します。

【問い合わせ先（対応時間：平日 09：00 ～ 17：00）】

済生会山口総合病院 循環器内科

小野 史朗 電話：083-901-6111

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。

本院で降下性壊死性縦隔炎の治療を受けられた患者さん・ご家族の皆様へ

治療時（2012年1月1日から2016年12月31日まで）診療記録の医学研究への使用のお願い

【研究課題名】

降下性壊死性縦隔炎の発生と治療法および予後に関する観察研究

【研究の対象】

この研究は以下の方を研究対象としています。

2012年1月から2016年12月までに本院にて降下性壊死性縦隔炎の治療を受けられた方。

【研究の目的・方法について】

降下性壊死性縦隔炎とは、菌原性や口腔内感染症や咽頭膿瘍などの深頸部の感染症が筋膜間隙や気管周囲間隙に沿って、肺の間(縦隔)へ進展する重篤かつ難治性の感染症で、致死率の高い疾患です。それゆえにその診断と治療には緊急を要します。日本胸部外科学会の学術調査によると、2010年以降、全国で毎年90～100例の手術が行われており、30日以内の死亡は1～6.8%と報告されています。本邦における死亡率は低下していますが、その詳細については不明な点が多くあります。本疾患の発生部位と縦隔への進展経路から、その診断と治療には関係するすべての診療科の協力と連携が必要で、耳鼻咽喉科、口腔外科、食道外科、呼吸器外科、さらに集中治療部など、複数診療科の連携と科の枠を超えた治療が必要と考えられます。

そのため日本気管食道科学会および日本呼吸器外科学会が、その病態、診断に至る経過、治療方法、ドレナージの方法の詳細、予後などについて、学会の認定施設より情報を収集し、治療方法や治療成績の検証を行い、本疾患における発生原因、治療効果予測因子や予後予測因子を解析します。そのうえで、これからの標準治療の確立のための基礎データを構築することを目的に行います。

【使用させていただく試料・情報について】

本院におきまして、既に降下性壊死性縦隔炎の治療を受けられた患者さんの診療記録（情報：画像診断情報、初発症状、起因菌、感染経路等）を使用させていただきます。このことは基幹施設である大分大学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審査され承認され、大分大学医学部長の許可を得ており、かつ、済生会山口総合病院の臨床研究倫理審査委員会でも審査、承認され、済生会山口総合病院長の承認も得ています。また、患者さんの試料および診療情報は、国の定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、匿名化したうえで管理しますので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

【使用させていただく情報の保存等について】

診療情報については論文発表後10年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、紙媒体の診療情報についてはシュレッダーにて廃棄、パソコンなどに保存している電子データは復元できない

ように完全に削除します。ただし、研究の進展によってさらなる研究の必要性が生じた場合はそれぞれの保存期間を超えて保存させていただきます。

情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

済生会山口総合病院 院長 城甲啓治

【外部への試料・情報の提供】

本研究は、診療情報を匿名化した後、大分大学医学部呼吸器・乳腺外科学講座のデータセンターに送付されます。

【研究組織】

【済生会山口総合病院における研究組織】

	所属	職名	氏名
研究責任者	済生会山口総合病院 外科	部長	神保 充孝

【研究全体の実施体制】

研究代表者：杉尾賢二 大分大学医学部呼吸器・乳腺外科学講座 教授

真庭謙昌 神戸大学大学院外科学講座 呼吸器外科学分野 教授

研究事務局：岡本龍郎 大分大学医学部 呼吸器・乳腺外科学講座

〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1-1

TEL：097-586-5854 FAX：097-586-6449

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来薬物などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

【研究資金】

本研究の運営資金は、公的な資金である大分大学医学部呼吸器・乳腺外科学講座の基盤研究経費、寄付金を用いますので、患者さんの費用負担はありません。

【利益相反について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切用いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究へ診療情報を提供するかしらないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に試

料・診療情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの試料・診療情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの試料・診療情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の照会先・連絡先までお申し出下さい。

【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住 所：〒753-8517 山口県山口市緑町2番11号

済生会山口総合病院

電 話：083-901-6111（代表）

担 当：臨床研究倫理審査委員会 事務局

研究責任者

済生会山口総合病院 外科部長 神保 充孝